ある東北の小さな町
粧品
胃腸
クス

おしゃれの店
YANO

フジタ

おしゃれの店
YANO

蝶よーう
ナーヨウォォ
花よとォ～
ハアーヤレヤレ
育てた娘を
ヨオオ…
ケーキ
家具センター

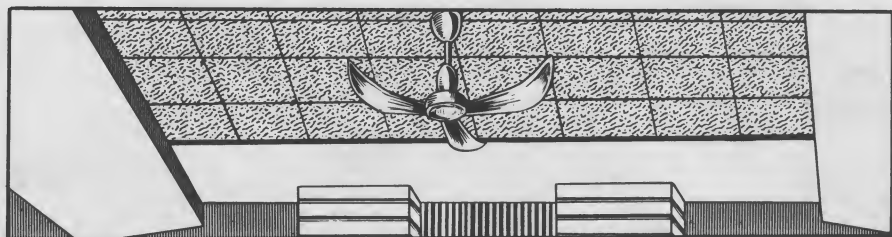
ホウ
吉日だな
………

きょうは他人の
手にわたす
………か
HARENCHI

高橋高雄 作

考

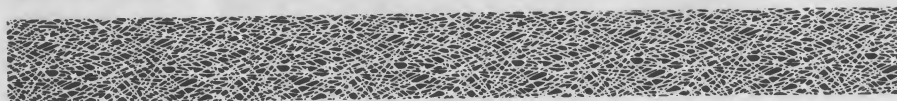
蝶よ花よと育てた娘
きょうは他人の手に渡す
笠を手に持ち皆様さらば
重ねがさねのいとまごい
七棹八棹の長持よりも
娘の宝は心持ち
故郷恋しと思うな娘
故郷当座の仮の宿
（秋田長持唄より）

判決

徴役二年六カ月に処する
ただし本刑確定日よりむこう三年その刑の執行を猶予する

長持唄

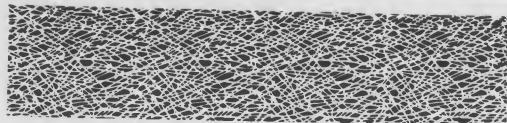
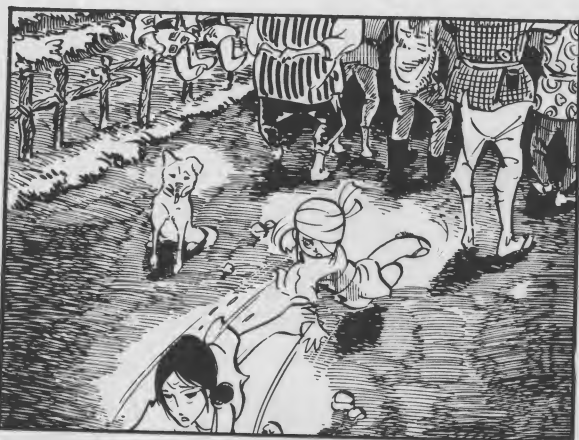
昭和14年10月28日、秋田県に生れる。県立増田高校卒。デビュー作「長持唄考」('69・4月号)、主著「釣りキチ三平」「マタギ列伝」など。
昭和48年度「講談社出版文化賞児童まんが部門賞」受賞。昭和50年度「日本漫画家協会賞グランプリ」受賞。

貧しい東北の山村の嫁は
全く良く働く
子供などにはかまっている暇はない

だから子供のやけどや
水死、病気の手遅れが
多くその後を絶たない

この法廷は………
火傷で顔半分がとろかされた娘の将来を思うあまりに、母親自らの手で愛し子を死に至らしめるという殺人事件の公判であった。
判決は軽いものであったが、それはおそらく世間の耳目が涙と同情で支援した賜であったかも知れない…………

ガロと長井さんに逢うことがなかったらボクは今頃故里で銀行員をしているだろう。ガロと長井さんとの出逢いがボクの運命をこんなにも変えました。感謝すべきか否か……。とにかく20年史発刊おめでとうございます。

長持（ながもち）というのは布団などを入れる家具の一種で､大きさが0.6m×0.6m×1.5m程の木製の箱のことである。江戸時代には、たんすと共に重要な嫁入り道具の一つであったが、今日では生活様式の変化に伴い実用性を失い、ほとんどすたれてしまった。しかし、当時の婚礼（嫁やり、嫁とりという呼び方をしたが、今日の結婚式とは大分ニュアンスがちがう）における親子の情や、女の社会的地位、宿命といったものを、切々と唄い込んだ祝唄として今日も東北地方には残っている。

名前をトキといった。
去年から小学校に入学する年齢ではあったが、いまだに学校へ行っていない。そして外出時はいつも白い包帯でその傷痕をおおっていた。

実家へ用があるといって
娘を連れて出かけたのは
それから三日後だった。

ここで
少し休んで
いくべ
ウン

あーあ
つかれた
ドッコイショ

あば（おかあさん）
汗かいて！

トキも
こんなに
かいた

んだけど
こっちの顔は
汗かかねエナ
おかしいナ

どれ
ホウタイとって
ける……
だれも見てネェ
こっちさこい
やだ
やだ！
なして……
なしてやだの
ホウタイとる
のやだのか？

トキ！どこさゆくまたねェか！

バラ
シーン
ううっ

トキ〜〜トキ
うぅっ
ゆるしてけれ
ゆるしてけれ
トキ……

笠を手に持ち
皆様さらば
重ねがさねの
いとまごい
家具センター

この物語はすべてフィクションです

長持唄考　完